

# 6月の園だより

令和5年6月1日  
目黒区立鷹番保育園



園庭で1,2歳児が遊んでいると、5歳児が駆け寄ります。目の高さを合わせて優しく声をかける5歳児の姿が印象的です。「なにしてるの」「顔さわってもいいかな」など1歳児の頬をさわってみたり、水をじょうろに汲んであげたり関わっていることで1歳児も心を許し5歳児にもたれかかっていたり膝に座ったりしています。2歳児は5歳児がやることをよく見ていて、同じことをしています。砂場では5歳児が砂をふるいにかけているのを見て自分でもケーキに砂をかけてみたり、ボトルケースや段ボール、タイヤなどでおうちを作っていると興味津々で覗いてみたり、入れてもらったりしています。2歳児が同じことをしようとしていると5歳児が察して手伝ってくれたりもします。その際は「こうやりたいのかな」と2歳児の思いを汲んでかなえてあげようとしています。自然な異年齢の関わりが多く見られ、互いに相手を大切に思う優しい心を育む大事な機会となっています。これから梅雨の季節になりますが、室内でも異年齢の関りを大切に保育を工夫していきたいと思ひます。

先月は懇談会に多くのご参加をいただき、ありがとうございました。1年間の保育や大切にしたいことなど保護者の方と共有できたかと思ひます。子どもたちの成長を保護者の方と一緒に見守り助けていきたいと思ひています。子育てで困ったことや悩んでいることがあればいつでもご相談ください。担任だけでなく、どの職員でも結構です。保護者の方が少しでもホッとできるような保育園でありたいと思ひます。

## 行事予定

ポニー教室（5歳児）

身体計測 避難訓練

## 検診のお知らせ

内科検診（全園児）  
歯科検診（全園児）  
眼科検診（全園児）  
耳鼻科検診（5歳児）

## ～子どものつぶやき、ほのぼのエピソード～

園庭遊びの後、足洗いをしにプールサイドへ来た子が並んで順番を待っていました。傍にあったプランターのイチゴをのぞきこむと、赤くなっているイチゴに顔を近づけ「んーいいにおーい」と甘い香りに癒されているようでした。

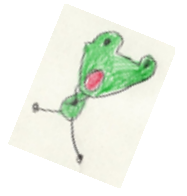


クイズの本を自分で読み「ずっと本を読んでいても途中で本を閉じなきゃいけない。そんな時はこれを使って。さて、いったいなあに」という問題に「せんたくばさみ」と答える子がいました。ページをめくって正解を読むなり「なーんだ、“おしり”か」と“しおり”を“おしり”と読み間違えていて、大笑いをしました。





# 1・2歳児クラスの室内遊びの様子をお知らせします



## 「色々な遊び方」

## 1歳児クラス

四角い積み木の中央部分に、円柱の積み木を出し入れできるリグノという積み木（型はめ）が人気です。

入園した当初は、積み木の穴に円柱の積み木を入れる遊びを繰り返し楽しんでいました。しばらくすると保育士が四角い積み木（外枠）を数個積み上げておくと、一番上から円柱を1つずつ落とし入れて遊ぶ姿がみられました。カタコトと音を立てながら円柱が枠の中を落ちていくと、「あー（今、音がしたねー）」と不思議そうに保育士に視線を送っています。保育士が「なんだか音がするね」と応えると、そっと穴を上から覗き込んで様子を見ています。

ある日のことです。保育士が円柱部分のみを床に立てておくと、円柱の上から枠となる四角い部分をはめ込んでいく遊びを考えつき、繰り返し楽しんでいきます。また、円柱をテーブル上で転がすと、面白いようにスピードが出たり、思った方向と異なる方向へ転がって行ったりの面白さに気が付き、「おお」「あー」と声をあげ遊んでいます。興味関心の幅が次第に広がってきている事が分かります。

遊びの面白さや、発見の喜びや感動に共感しながら、これからも好きな遊びと一緒に楽しんでいきたいと思います。



## 「季節外れのクリスマス」

## 2歳児クラス



保育士とある子が窓のついたてに洗濯ばさみを何個もつけて遊んでいました。するとそれを見た子も「やりたい」と言って一緒に洗濯ばさみを ついたてにはさみ始めます。色とりどりの洗濯ばさみが並んでいくと、そのカラフルさからパーティーの装飾を連想したのでしょうか。「ジングルベールジングルベール」と歌い始めます。全部の洗濯ばさみをつけ終わると「やったーできた」と嬉しそうです。すると歌を歌っていた子が何か思いついたようにその場から離れました。リュックに動物の玩具を入れて、肩にかけるとまた「ジングルベールジングルベール」と歌いながらゆっくり歩いて戻ってきます。どうやらサンタクロースになりきっているようです。保育士が「お部屋可愛くしたからサンタさんきてくれるかな。おやすみなさい」と言って眠る真似をすると、はじめに洗濯ばさみをつけていた子も一緒になって横になります。サンタクロースになりきった子は保育士の近くにプレゼントを置くと、その場を離れて遠くから見ています。寝ていた子と保育士がリュックの中から動物人形を取り出し、「やったプレゼントだ」と喜んでいると、サンタクロースになりきった子も嬉しそうに笑っていました。

並べたり積み立てたりする遊びが大好きな子どもたちです。それらを身近なものに見立てる子どもの豊かな発想力には保育士も感心させられることが多々あります。保育士も子どもの発想に寄り添いながら一緒に遊び、イメージを合わせて遊ぶことの楽しさに共感していききたいと思います。

